

<b>Title</b>	東アジアの平和と民主主義：北朝鮮問題の展望（総合研究所 News：聖学院大学学術セミナー）
<b>Author(s)</b>	聖学院大学総合研究所
<b>Citation</b>	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.19-5：19-20
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/refs/modules/xoonips/detail.php?item_id=2360">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/refs/modules/xoonips/detail.php?item_id=2360</a>
<b>Rights</b>	

聖学院学術情報発信システム：SERVE

Seigakuin Repository for academic archive

# 総合研究所 News

## 聖学院大学学術セミナー 東アジアの平和と民主主義 —北朝鮮問題の展望—

日時 2009年10月17日(土)14:00～17:30

場所 聖学院本部新館2階集会室

### 【プログラム】

#### 主催者挨拶

大木 英夫（聖学院大学総合研究所長、学校法人聖学院理事長）

#### 講演 「東アジアの平和と民主主義—北朝鮮問題の展望」

康 仁徳（聖学院大学総合研究所客員教授、元統一部長官）

#### 討論（コメント）

遠藤 哲也（元日朝国交正常化交渉政府代表）

小此木 政夫（慶応義塾大学教授）

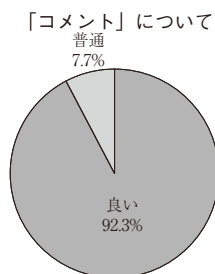
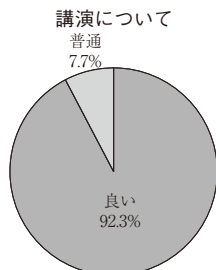
宮本 悟（聖学院大学総合研究所准教授）

#### 質疑応答

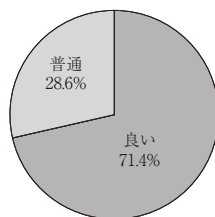
司会 小田川 興（聖学院大学総合研究所客員教授）

### 【結果の概要】

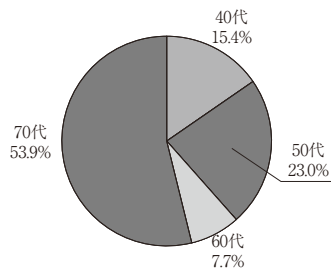
- ・参加者は57名。内アンケート回答者13名だった。
- ・講演・「コメント」について、「良い」が共に92%となり、質疑応答については、「良い」が72%だった。
- ・自由意見として、「康仁徳先生の講演がよかった」「シンポジウムに向けて2～3回学術セミナーをやったらよい」など



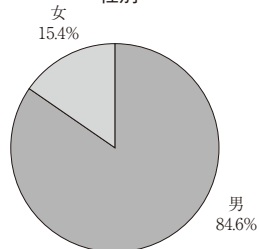
#### 質疑応答について



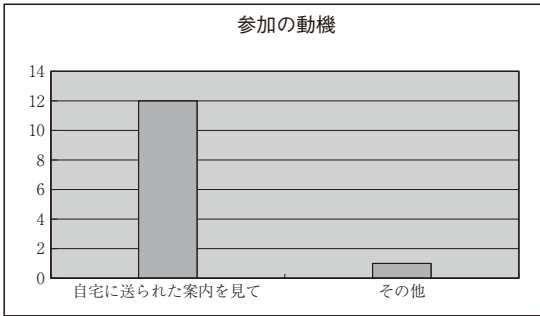
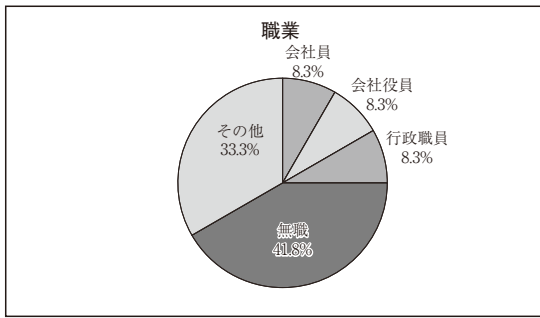
#### 年齢



#### 性別



\*参加者の年齢は、「70代」が53%と最も多く、次に「50代」23%、「40代」15%となった。男女別には、「男性」84%、「女性」15%となった。



\*職業別には、「無職」が71%と最も多く、「その他」の内容として「開発技術コンサルタント」「大学名誉教授」など。

#### 自由意見

- ・六者協議におけるロシアの役割がよく判らない。ロシアに何を期待するかについて次回シンポジウムで触れてほしい。
- ・政権が変わることによっての変化をわかりやすくコメントして下さり、良かったです。これからもこういう動きを説明して下さい。
- ・そろそろ歴史年表を付録として用意していただきたい。
- ・韓国の要請で中小企業の技術指導の依頼を受け8日間、指導協力をしたことがあったので、韓国の事情を知る事は技術交流上必要である。実際、中小企業ではなく、三星、金星、現代などの大企業で、彼らは技術に非常に関心があり熱心であった近隣諸国と交流上、それぞれの歴史、現状を知ることが非常に重要であります。今後よろしくお願ひします。
- ・日本が（現与党が）アメリカに対して、どのような政策をとるのが、北朝鮮問題にもひびくと思います。もし与党の社民党の主張が通って、インド洋における補給問題を中止することになれば、日本は世界の支持を失います。岡田外相

がどれだけ先見の明を具体的に政策に移せるかで日本の運命が決まります。日中韓3国共通の歴史テキストにする政策など、子どもじみた愚案です。鳩山首相及び、幸夫人に倫理観が乏しいのも難点です。

- ・康仁徳先生の基調講演は、詳しい資料に基づいた充実した内容のものだったと思います。それを受けての各先生方のコメントも、それぞれ独自の視点から多様な知識を学ぶ機会を与えられました。また質疑応答では（日本の核武装の可能性に関する）自らの質問にも詳細に説得力をもって回答いただけて、満足感を得られました。
- ・シンポジウムに向けた学術セミナーは2～3回はやったほうがよいのではないか。
- ・宮本先生の講話グッドです。



康仁徳 聖学院大学総合研究所客員教授、元大韓民国統一部長官による講演